

令和4年度 学習指導計画

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第1学年
使用教科書		高等学校現代の国語(数研出版)			
使用副教材等		TOP2500(いわずな書店)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	論理的ということ 私の中にある生命の歴史 水の東西 攻撃と共存 「大人になる」ための条件	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解した上で、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。
2 学 期	「わらしべ長者」の経済学 ポスト・ブライバシー コインは円形か コミュニケーションの手段 を考える 目的に合わせて表現を工夫する いま平和とは	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解した上で、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。
3 学 期	ものことば 人と自然の共生とはどうい うことか 政治的思想 絵を前に思いをめぐらす 資料を分析して考えをまとめる 根拠の妥当性を説明する	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解した上で、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。

令和4年度 学習指導計画

教科	国語	科目	言語文化	単位数	3単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第1学年
使用教科書		高等学校 言語文化(数研出版)			
使用副教材等		TOP2500(いわずな書店)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	宇治拾遺物語 竹取物語 徒然草 舟を編む 沖縄の手記から	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 歴史的仮名遣いや動詞・形容詞についておおむね理解し、辞書などを引きながら古語を学習することができる。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。
2 学 期	伊勢物語 枕草子 土佐日記 側転と三夏 I was born 羅生門	助動詞についておおむね理解し、辞書などを引きながら学習することができる。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 歴史的仮名遣いや動詞・形容詞についておおむね理解し、辞書などを引きながら古語を学習することができる。 主語の変わり目をおさえさせる。現代語訳を用いて心情を理解させる。 和歌の基本的な決まりを理解することができる。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。
3 学 期	奥の細道 漢文 句法 漁夫之利 矛盾 朝三暮四 山月記	助動詞についておおむね理解し、辞書などを引きながら学習することができる。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 歴史的仮名遣いや動詞・形容詞についておおむね理解し、辞書などを引きながら古語を学習することができる。 主語の変わり目をおさえさせる。現代語訳を用いて心情を理解させる。 漢文に由来する故事成語が現代の日本語として用いられていることについて、具体例をもとに理解できている。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。

令和4年度 学習指導計画

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	3単位
学科・類型		普通科I類		学年	第1学年
使用教科書		「新編 現代の国語」数研出版			
使用副教材等		「新編 現代の国語 準拠ワーク」数研出版 「カラー版新国語便覧」第一学習社			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<p>「目指す世界の地図を作る」 鴻上尚史 「ものづくり」 村山明 「時間とは何か」 池内了 「地球を旅する水の話」 大西健夫 「水の東西」 山崎正和</p>	<p>書き手の意図をつかむ ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 文章の展開を把握する ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。</p>
2 学 期	<p>「里山物語」 日高敏隆 「評論を読むヒント」 指示語・対比 「世間話は何ぞするか」 松井智子 「非言語コミュニケーション」 末田清子</p>	<p>対比を読み取る ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 コミュニケーションと言葉 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 言葉の働きをとらえる ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。 書き手の考えを比較する ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。</p>
3 学 期	<p>「「差」という情報」 佐藤雅彦 「「わらしべ長者」の経済学」 梶井厚志</p>	<p>根拠を読み取る ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 社会の中の文章 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。</p>

令和4年度 学習指導計画

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2単位
学科・類型		普通科I類		学年	第1学年
使用教科書		新編言語文化(数研出版)			
使用副教材等		新精選 古典文法 三訂版(東京書籍)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	小説「とんかつ」 歴史的仮名遣い 文・文節・単語 用言の活用(動詞) 宇治拾遺物語 「児のそら寝」 徒然草 「ある人、弓射ることを習ふに」	<ul style="list-style-type: none"> 短編小説のおもしろさを味わい、その鑑賞のしかたを学ぶ。 古文を学習する意義をしり、今後の学習に意欲を持つ。 古文と現代文の違いを理科し、今後の学習のポイントを把握する。 文語と口語の違いを理解する。 古文読解に必要な文法力を身につける。 短い文章を読み、古典に対する親しみを深める。
2 学 期	小説「羅生門」 漢文訓読 故事「助長」「虎の威を借る狐」 伊勢物語「芥川」 形容詞・形容動詞	<ul style="list-style-type: none"> 短編小説のおもしろさを味わい、その鑑賞のしかたを学ぶ。 すぐれた描写と効果的な表現を学び、想像力・感受性を豊かにする。 漢文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法を理解する。 訓読のさまり、書き下し文のさまりを理解する。 故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解する。 歌物語を読んで、古文に親しむ。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 歌物語における和歌の役割を理解する。 古文読解に必要な文法力を身につける。
3 学 期	小説「名人伝」 漢詩「春暁」「春望」 万葉集、古今和歌集	<ul style="list-style-type: none"> 小説の構成・視点・文章のレトリックに関心を持つ。 唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 漢詩のさまりについて理解する。 和歌を味読し、修辞技巧を理解する。

